

かたつむり通信



第5号

発行:2010年5月10日

しながわチャイルドライン

運営委員会

品川区西大井 2-10-14

TEL/FAX

03-3773-1929

～これからのチャイルドライン活動について～

昨年、日本のチャイルドライン活動が10周年を迎えました。記念の「チャイルドライン全国フォーラム IN 千葉」において、支援センター代表理事の清川輝基氏は「子どもたちの声にひたすら耳を傾ける、チャイルドライン活動は2009年5月5日から新たな時代に入りました。フリーダイヤルの運用を機に、次の10年に向けて新しい歩みを始めます。」と宣言されました。

フリーダイヤル「0120-99-7777」で、子どもたちは全国の何所からでも、電話代を気にすることなく話を聴いてもらえるようになったのです。

当初の「全国すべての都道府県にチャイルドラインを！」その夢は今年の「こどもの日全国キャンペーン」では参加37都道府県68団体と広がり2000人以上のボランティアが活動するまでになりました。この10年間に約77万件を超える子どもたちの声がチャイルドラインによせられ、昨年度は、約24万3千件で、2年前の2倍に達しました。内容は『性について』『心の不安』『話を聴いてほしい』とさまざま、ありとあらゆる子どもたちからの声につながります。

しながわチャイルドラインも9年目を迎えます。昨年度、会話が出来たのは約900件（受けた電話総数2200件中）の子どもたちの声に耳を傾けました。一昨年に回線を増設し、金曜日の午後7時から9時半の2回線に午後4時から7時までの1回線を加えました。すると、小学生、特に低学年のお子さんの電話が飛び込んできました。嬉しい話、親御さんが帰宅されるまでの思案や学校での困ったことなど、やはり、夕方の早い時間は必要だったとの認識をあらたに致しました。

今年の5月の「こどもの日全国キャンペーン」ではフリーダイヤルで北海道から南は九州までの子ども達の声が届きました。最近では特に限らない不安と孤立感が視えてきます。このように子ども達の『生きにくさ』『育ちにくさ』が続く限り私達は子ども達に寄り添っていかなければと思います。

この5月に当会は、心ある方のご好意により、少し広めの事務所を安価にて借りることができました。これから、曜日や回線の増設を検討するとともに、より一層社会に信頼されるチャイルドライン活動をするべく、当会の代表がNPO設立の準備を着々と進めているところです。

また、7月9日には「品川子育てメッセ」の一環として”夢メッセージ展”を開催し、文化、芸術、スポーツ、芸能等の有名人の描いた素晴らしさあふれる「絵馬」の展示を計画しています。

しながわチャイルドラインはこれからも、子ども達の笑顔と声の広がる、住みよい地域社会を願い、社会発信し、連携し、子ども達の声にひたすら耳を傾けながら、活動を続けてまいります。

これまでの、地域の皆様、行政関係者の方々、ご支援して下さる皆様方に心より感謝いたします。今後とも、あたたかいご協力、ご支援と、さらなる連帯をよろしくお願い致します。

しながわチャイルドライン 副代表 北島仍子

◎平成21年度の活動より◎

☆研修部会スタート

研修部会が誕生！スタートしました！2008年12月に立ち上げ案が出て、1月に会員全体に向け「しなチャイの研修をつくるメンバー」の呼びかけをしました。幸せなことに大勢の皆さんからいろんな形で協力をしたいとの反応、お返事を頂き、4月10日に研修部会が誕生しました。個性豊かなメンバーが集まり（来られない方は文書で）様々な意見や案を持ち寄ってのワイワイと楽しい会議になりました。《内容については総会の資料を参照して頂きたいと思います。》みんなが参加し易く楽しい研修をつくっていこうと考えています。やってみたいと思う方大歓迎！＊研修アンケート集計中です。これからの研修に反映させていきたいと思います、お寄せいただいた皆さんご協力ありがとうございました。＊継続研修・ワークショップ・体験交流 等多彩に用意しています。ご期待下さい。

☆研修終了後は大井町グルメツアーがあります。ここだけの参加もOKです。（報告：S・Y）

☆ 宿泊研修報告 2009年11月7日8（土）8日（日）—マホロバマイズ三浦—

参加者：末松先生にも来ていただき14名（毛下君は風邪のため当日欠席残念！）

参加の形態はさまざまで、仕事や予定に合わせて8パターンもありました！

無理せず楽しく参加できたのではないのでしょうか。

主なプログラム ●1日目・ワークショップ・夕食&懇親会

（部屋対抗ゲーム・パントマイムシアター）

●2日目・ワークと振り返り

その他・研修前のお楽しみは、駅前の朝市で買い物、

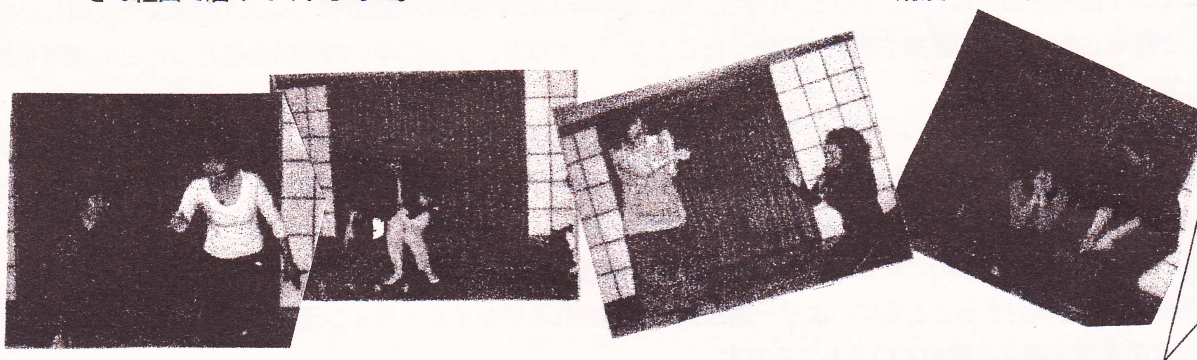
地元の漁師さんがやっている食堂で昼食、

・研修終了後は、みかん狩りコースとおすし屋さんコースに分かれ解散しました。

部屋対抗パントマイムシアターでは真に迫真の演技（？）が目白押しでした！

合宿に参加できなかったYAGAさんがこの問題のタイトル（昔話）を作成、この為だけに参加してくれた（？）IKUさん経由で届けてくれました。

（報告 S・Y）



○今年の合宿は7月3（土）4（日）「マホロバマイズ」に決定！！～参加しようGO～

宿泊研修は聴く為の研鑽・会員相互の理解、親睦を図ることが目的♪予定空けておこう♪♪♪

☆公開講座 岩室伸也先生講演会報告

2010・1・19・PM7:00～9:00 於) きゅうりあん

思春期の男の子の性って？

岩室氏は「思春期の性について、たんに性の問題にとどまらず、若者が直面している『コミュニケーション能力の低下』という問題にスポットを当てつつ、人と人との関係性を再構築するために、性をどうとらえ、どう伝え教えたたらよいのか、それについてどう考えているのかをパワーポイントや音楽をまじえ話してくださいました。

●実に楽しい、目の覚めるような講義でした。＊詳しくはチャイルドラインホームページをご覧ください。（報告 Y・K）

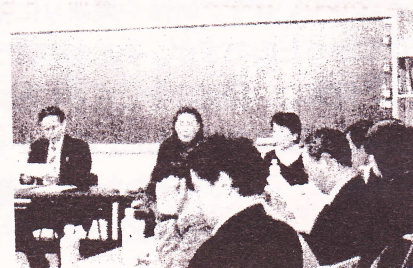
“コミュニケーション上手になるには？”

電話で必要なことは聴く力。聞く (hear) でなく、聴く (listen) 注意深く身体ごと聴き、相槌を打つことがコミュニケーションの基本。まず、聴きながら事実を共有し、次には相手の感情を捉え、例えば「あー、そうですか。大変な思いをされましたね。お母さんとしてはつらかったですね。」と感情により添いながら耳を傾けることが重要。コミュニケーションを重ねていくと感情の奥に秘められた想い (生きる意味) が見えてくるが、1回の電話では、それは、無理なので、相手の気持ちに寄り添ってしっかりと聴くことが大切。

●大変判りやすい実践に役立つ話とグループワークで立正大学の大きな教室は椅子が足りないくらい多くの参加者でした。(報告 Y・K)

第2回 “子どもの心によりそって”

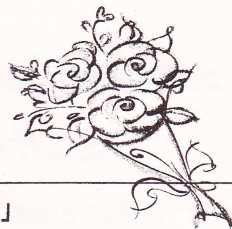
一東海中学校PTAからの以来で「しながわのY・Yさん」が話しましたー
チャイルドライン支援センターがチャイルドラインとは何かを話した後、
しながわチャイルドラインで子どもの電話を受けて感じたことを話して
きました。品川児童相談所明智豊文氏からもお話がありました。(報告 Y・Y)



平成22年度 しながわチャイルドライン研修計画 (予定)

月	日	曜	目的・趣旨	内 容	講 師	会場
4	19	月		お互いを知り合うワーク	米川・鎌水	立正
5	27	木	新人対応	新人体験交流、ワーク	幾島	立正
6			精神科医師から学ぶ	現代の精神疾患やその周辺、とらえ方	交渉中	立正
7	3~4	土 日	宿泊研修		末松	マホロバ
8			お休み			
9			公開講座		交渉中	立正
10	5	火	9期受け手養成研修1	チャイルドラインとは？	渡辺 美恵子	
10	12	火	9期受け手養成研修2	聴く	榎木 満生	
10	19	火	9期受け手養成研修3	子どもの人権	北島 尚志	
10	26	火	9期受け手養成研修4	こども達と家庭の今	交渉中	
11	2	火	9期受け手養成研修5	お互いを知ろう！	スタッフ	
11	9	火	9期受け手養成研修6	性について	交渉中	
11	16	火	9期受け手養成研修7	あなたも受け手になりませんか？	末松 渉	

◎ 受け手9期生を募集します (詳しくは後日の「広報しながわ」参照)



〜〜〜 卒業生からのお手紙より 〜〜〜

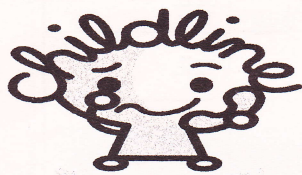
「品チャイの皆様へ」

舟田亜希

4年弱の短い間でしたが、品チャイで皆様と一緒に活動できたことを大変幸せに思っております。私は大学1年生のときのボランティア共生学という授業で、矢吹さんからチャイルドラインの紹介を受けたことがきっかけで、チャイルドラインの活動に参加することになりました。あの授業で矢吹さんに会えて本当に良かったと思っています。研修や集まりに毎回参加したわけではなかったのですが、子どもの声について話し合ったり、何気ない世間話をしたりした時間は、とても楽しく人生勉強になりました。品チャイの集まりに参加していると、こんなにあたたかくて親切な方がたくさんいるなら、自分も品川区に住んでみたいと思うことが何度もありました。

私は2月から福島に戻って働くことになるのですが、品チャイの皆様にあえなくなることに、子どもの声を電話から聞く機会がなくなることが、本当に残念でなりません。しかし、何らかの形でチャイルドラインの活動に携わることができたらと思っています。また遊びにいつでもいいですか？

短い間でしたが、本当にありがとうございました。



「チャイルドラインを経験して」

武田 尚

大学一年生の頃、何か新しいことを始めたいと思っていた時に、授業でチャイルドラインのボランティア活動を知りました。チャイルドラインの活動は小学生の頃から学校でカードを受け取って知っていました。しかしその時は電話をかけることはありませんでした。ボランティアによって運営されていることを知り、「悩みを持った子どもと話したい」という気持ちと、「どのような人が電話をとっているんだろう」という興味もあり、研修に参加することにしました。

数回の研修を通して「子どもと話してみたい」と感じる気持ちが強くなり、受け手として子どもと話すようになりました。初めはかかってきた電話に対応することに気をとられて、子どもの気持ちに寄り添うことがうまくできていなかったと思います。しかし、何度も電話をとって話していくうちに相手が「どのように感じたのか」、「どんな気持ちなのか」ということを意識して聴くことが出来るようになりました。子どもが悩んで電話をしてきても、うまく答えを出すことが出来ないこと、聴いている自分が驚いて気持ちを聴けないことは何度もありました。それでも電話を受け続けることが出来たのは、支え手や、他の受け手の方々の励ましによるところが大きいと思います。

このチャイルドラインでの活動は、私に「相手の心に寄り添って話を聴くことが相手の心を開くこと」と、「周りの人に支えられて生きている」ということを教えてくれました。社会に出てもこの活動から得た教訓を心におぼえて生きていきたいと思っています。

●チャイルドラインとは？

チャイルドラインは、18歳までの子どもが、悩んでいることや誰かに聴いてもらいたいことなど、どんなことでも話すことのできる電話で全国各地で65団体が活動しており、今日も子どもたちの声を聴いていこうと、新たな仲間が増え続けています。

●しながわチャイルドラインの歩み

しながわチャイルドラインは9年前に活動を始め、8年前から毎週金曜日に常設開設するようになりました。毎週50本前後の電話がかかってきて、子どもの話しに耳を傾けています。

(ハハ) 「電話だから話せるね！待ってるよ。」

毎週金曜日 午後4時～7時 03-5742-7974(なくなよ)

〃 午後7時～9時半 03-3494-8872(ハイハイなーに)

〃 午後4時～9時 0120-99-7777(フリーダイヤル)

会員募集中！ 会員、賛助会員（一口2000円）募集しています。ご入金は郵便振替用紙をご利用ください。

*口座番号 10140-49291081・口座名 しながわチャイルドライン

© 2009年度 実施報告書が出来ました。 定価 500円で販売中(送料は別途、210円)

